

- 問1 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ近郊に広がる産業集積地について、その産業構造の特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 肥沃な黒土と適度な降水量を背景に、大規模な機械化による小麦やトウモロコシの商業的農業を行っている。 | 2. メキシコ国境付近の低賃金労働力を利用した、衣類や生活雑貨などの労働集約的な軽工業が盛んである。 | 3. 五大湖周辺の鉄鉱石と石炭を結びつけ、自動車や鉄鋼を大量生産する重工業が中心となっている。 | 4. 半導体や集積回路の設計、ソフトウェア開発など、高度な知識と技術が必要とする産業が集中している。 |
|--|--|---|--|
- 問2 アメリカ合衆国では、広大な国土の地形や気候などの自然環境に合わせて、その土地に最も適した農作物を集中的に栽培する農業が行われています。このような、生産効率を追求したアメリカ特有の農業方式を何と呼びますか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 自給的農業 | 2. 適地適作 | 3. 近郊農業 | 4. 焼畑農業 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問3 アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国が参加する北米自由貿易協定（NAFTA）の仕組みやその影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|------------------------------|
| 1. 加盟国間で共通の通貨を導入し、国境を越えた人の移動を完全に自由化した。 | 2. 東南アジア諸国との協力関係を築くため、アメリカ合衆国を中心に設立された。 | 3. 域外の国からの輸入品に対して高い関税を一律に課し、北アメリカの農業を保護した。 | 4. 域内の関税を撤廃することで、部品の一体化を進めた。 |
|--|---|--|------------------------------|
- 問4 北アメリカ州の自然環境について述べた文として、地理的な特徴を正しく説明しているものを次の中から選んでください。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 大陸の中央部にはグレートプレーンズと呼ばれる広大な平原があり、その西側にはロッキー山脈がそびえている | 2. 大陸の南部には、世界最大の流域面積を誇る大河が流れており、熱帯雨林を形成している | 3. 大陸は東側でインド洋に、西側で大西洋に面しており、海上交通の要所となっている | 4. 世界で最も面積が大きい大陸であり、北から南まで全ての気候帯が揃っている |
|---|---|---|--|
- 問5 日本の輸入統計において、カナダからの輸入割合が約25%で最も高く、次いでアメリカ合衆国が約19%、オーストラリアが約17%となっている品目はどれですか。パンや麺類の原料として広く利用されているものを選びなさい。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 砂糖 | 2. 小麦 | 3. 大豆 | 4. とうもろこし |
|-------|-------|-------|-----------|
- 問6 アメリカ合衆国の都市の立地と交通網の発展について述べた文として、歴史的・地理的な背景をふまえた最も適切なものを選びなさい。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 内陸部の山岳地帯を中心に主要都市が形成され、海岸部とは航空路のみで結ばれる特殊な交通体系が発達した。 | 2. 河川の氾濫を防ぐためにすべての主要都市は内陸の高原に建設され、水上交通ではなく道路網が発展の起点となった。 | 3. 主要都市の多くは河川の河口付近に位置しており、物資の輸送に便利な鉄道などの交通網が発達して経済を支えた。 | 4. 1776年の建国当初から西海岸に主要都市が集中していたため、東部へ向けて鉄道を敷設することで領土を拡大した。 |
|---|--|---|---|
- 問7 アメリカ合衆国の中央部に位置する中央平原からグレートプレーンズにかけての地域では、広大な土地を活用した大規模な農業が行われています。この地域のうち、中央部の南北に伸びる地帯でトウモロコシが、そのさらに北側や南側の地域で小麦が主に栽培されています。このように、それぞれの地域の気候や土壌などの自然条件に最も適した農作物を栽培する農業方式を何といいますか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|------------|
| 1. 地産地消 | 2. 二毛作 | 3. 適地適作 | 4. モノカルチャー |
|---------|--------|---------|------------|
- 問8 北アメリカ大陸において、二つの大洋を結ぶ目的で1850年代から建設が進められた鉄道に関する記述として、歴史的・地理的背景を踏まえて正しいものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. パナマ運河が開通するまでは貿易上の重要な役割を担っていたが、運河開通後は役割が変化し、現在は観光資源にもなっている。 | 2. 当初から観光目的で建設されたため、パナマ運河開通後もその利用者数や経済的な役割に変化は見られなかった。 | 3. シベリア鉄道に対抗して建設されたため、冬場の積雪による運休を避ける目的でパナマ運河に全機能を移転した。 | 4. アメリカ合衆国の独立直後に建設が始まり、1914年のパナマ運河開通と同時にすべての運行を終了した。 |
|---|--|--|--|
- 問9 アメリカ合衆国の国土面積約9834平方キロメートルに対し、農用地面積が4059平方キロメートルであるという統計データに基づき、同国の土地利用の特徴を説明した文として最も適切なものを選択してください。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 耕地や牧場・牧草地を合わせた農用地が国土の3分の1を超えており、大規模な農業が行われている | 2. 山地が多いため農用地として利用できるのは国土の3分の1以下である | 3. 環境保護のために森林面積が優先され、農用地の割合は10%以下に制限されている | 4. 国土の半分以上が牧場・牧草地であり、耕地面積は極めてわずかである |
|--|-------------------------------------|---|-------------------------------------|
- 問10 北アメリカ大陸の東西方向の地形の特徴を示した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 西側に標高の高いロッキー山脈があり、中央部に平原、東側に標高の低いアパラチア山脈が広がる。 | 2. 東側に標高の高いロッキー山脈があり、中央部に盆地、西側に標高の低いアパラチア山脈が広がる。 | 3. 西側から東側に向かって標高が一貫して高くなり、東端に最も高い山脈が存在する。 | 4. 中央部に最も標高の高い山脈が存在し、東西の沿岸部はどちらも低地となっている。 |
|--|--|---|---|
- 問11 アメリカ合衆国の農業について記述した文として、その特徴である「適地適作」の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. その土地の気候や土壌などの自然環境に合わせて、最適な農作物を組み合わせ栽培すること | 2. 食料自給率を高めるために、国内のすべての地域で同じ種類の主食を栽培すること | 3. 大都市の周辺で、消費者に新鮮な野菜や乳製品を届けるために行われる生産のこと | 4. 特定の輸出用作物のみを栽培し、国際価格の変動による影響を受けやすい体制のこと |
|--|--|--|---|
- 問12 世界の農産物生産量において、大豆の32.5%、とうもろこしの35.2%という極めて高い世界シェアを占める一方、小麦のシェアは10.6%にとどまり、カカオ豆の生産がほとんど行われていない地域はどこですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 北アメリカ州 | 2. 東南アジア | 3. ヨーロッパ州 | 4. 南アメリカ州 |
|-----------|----------|-----------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 半導体や集積回路の設計、ソフトウェア開発など、高度な知識と技術を必要とする産業が集中している。	この地域は、単なる工場の集積ではなく、研究開発や設計に重点を置いた「先端技術産業（ハイテク産業）」の拠点です。情報通信技術（ICT）に関わるベンチャー企業から巨大IT企業までが集中し、新しい技術革新（イノベーション）が常に起こる仕組みが構築されています。
問2	答え 2 適地適作	アメリカ合衆国では、五大湖南側の比較的冷涼な地域での酪農や、中央平原でのトウモロコシ栽培など、自然条件を最大限に活用して特定の農産物を大規模に生産しています。これにより、広大な土地で高い生産性を実現しています。
問3	答え 4 域内の関税を撤廃することで、部品や製品の輸出入を自由にし、経済の一体化を進めた。	NAFTAは自由貿易の推進を目的としており、関税を撤廃することで3か国間の分業体制が進みました。例えば、アメリカの企業が労働賃金の安いメキシコに工場を建設し、生産した製品を再びアメリカへ無関税で輸出するといった動きが活発になりました。共通通貨の導入などは欧州連合（EU）で見られる特徴であり、NAFTAにはありません。
問4	答え 1 大陸の中央部にはグレートプレーンズと呼ばれる広大な平原があり、その西側にはロッキーマウン脈がそびえている	北アメリカ州を概観すると、太平洋に面した西側にロッキー山脈が走り、その東側にグレートプレーンズやプレーリーといった広大な平野・平原が広がっています。大西洋には面していませんが、インド洋には面していません。面積が最大の大陸はユーラシア大陸であり、世界最大の流域面積を持つ河川（アマゾン川）や広大な熱帯雨林（セルバ）は南アメリカ大陸の特徴です。
問5	答え 2 小麦	日本の小麦は自給率が低く、輸入の約4割以上をカナダとアメリカ合衆国の北米2カ国が占めています。広大な土地を利用した大規模な機械化農業が行われている北米地域は、日本にとって重要な食料供給源となっています。
問6	答え 3 主要都市の多くは河川の河口付近に位置しており、物資の輸送に便利な鉄道などの交通網が発達して経済を支えた。	アメリカ合衆国の多くの主要都市は、水上交通の利便性が高い河口付近に発展しました。建国以来、東部から西部への開拓が進むにつれて、これらの都市を結ぶ鉄道網などが整備され、広大な国土における政治・経済・文化の結びつきを強める役割を果たしました。
問7	答え 3 適地適作	アメリカ合衆国では、降水量や気温などの自然環境に合わせて、特定の農作物を大規模に栽培する体制が整えられています。トウモロコシが生産される「コーンベルト」や、その南北に広がる「小麦地帯」のように、土地の個性を最大限に活かした効率的な生産を行う仕組みが、広大な国土を持つ国々における農業の特徴となっています。
問8	答え 1 パナマ運河が開通するまでは貿易上の重要な役割を担っていたが、運河開通後は役割が変化し、現在は観光資源にもなっている。	この鉄道は、広大な北アメリカ大陸をまたいで大西洋側と太平洋側の物流を直結させるために建設されました。1855年の開通当初から貿易ルートとして重宝されましたが、1914年に開通したパナマ運河は、大量の貨物を積み替えなしに輸送できるという利点があったため、鉄道の貿易における優位性は失われました。しかし、鉄道自体が消滅したわけではなく、その希少性や歴史性が評価され、現代では観光客を惹きつける資源として存続しています。
問9	答え 1 耕地や牧場・牧草地を合わせた農用地が国土の3分の1を超えており、大規模な農業が行われている	アメリカ合衆国の農用地面積（約4059千平方キロメートル）を国土面積（約9834千平方キロメートル）で割ると、約41%となり、国土の3分の1を大きく上回る広大な面積が農業に充てられていることがわかります。適地適作に基づき、東部から中央部にかけての肥沃な平原での耕作や、西部での広大な放牧など、地形や気候に応じた効率的かつ大規模な土地利用がなされています。
問10	答え 1 西側に標高の高いロッキー山脈があり、中央部に平原、東側に標高の低いアパラチア山脈が広がる。	北アメリカ大陸の地形は、西部に険しく高いロッキー山脈が存在し、中央部には広大な中央平原やプレーリーなどの平原が広がり、東部には比較的標高の低いなだらかなアパラチア山脈が位置しています。
問11	答え 1 その土地の気候や土壌などの自然環境に合わせて、最適な農作物を組み合わせて栽培すること	適地適作は、自然環境（気候、降水量、土壌など）に合わせて最適な作物を選定する手法です。例えば、乾燥したグレートプレーンズでは小麦、湿潤な地域ではトウモロコシといった使い分けがなされています。選択肢にある「特定の輸出用作物のみを栽培」するのはモノカルチャーの説明であり、適地適作とは区別する必要があります。
問12	答え 1 北アメリカ州	大豆やとうもろこしの生産で世界的に高いシェアを持っているのは北アメリカ州（主にアメリカ合衆国）の特徴です。北アメリカ州では小麦の生産も盛んですが、大豆やとうもろこしほどの占有率ではありません。また、カカオ豆は低緯度の熱帯地域で栽培される作物であるため、温帯から冷帯が中心の北アメリカ州ではほとんど生産されません。